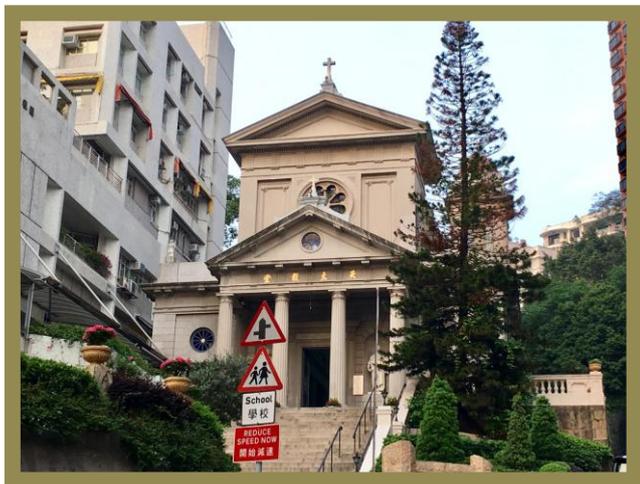


香港で打ち砕かれて

今年の9月に、特に行橋・豊津教会のベトナム人のために来てくださったピーター神父様から、「香港へ来ませんか？」とお誘いを受け、先月の25日（土）から27日（月）の2泊3日で、香港へ行ってきました。まさか「縁があるとは思わなかった」初めての香港です。私が閉鎖的なせい、海外に関して特に興味ないんですよね。ピーター神父様が誘ってくれなかったら、一生縁がなかったかもしれません。



25日に香港に到着して、まずピーター神父様に連れられて行ったのは、土曜夕方の聖書の学びの会。アイルランド人の高齡の神父様を囲んで、20人弱の信者さんたちが英語で分かち合っておられました。香港の信者さんたちは、難しい内容の話の流れように英語で表現されていて、私は部分的に理解できる程度で、ついて行くのに大変でした。改めて自分の英語力のなさを実感させられました。

そこの信者さんたちのご好意で、高級大衆レストランにお呼ばれ。おいしいとは思わなかったご馳走をいただいた後、宿泊のためにドミニコ会の宿舎へ。夜の風景の中に、フィリピンで感じた“アジアの香り”

とでも言うべきか・・・を感じました。これは（私にとっては）住み慣れた日本では感じない雰囲気です。

翌日曜日は、香港の日本人共同体の皆さんのために、ミサを司式させてもらいました。昼食をはさんで、その共同体の皆さんと分かち合いを行いました。ある男性信者さんから、日本の福音宣教の現状を尋ねられて、私なりに「どうしていいかわからない状況の中にある」ことを吐露しましたが、彼からは、「日本の教会は、例えばSNSを利用した取り組みに関しても、他のアジア諸国の教会と比較して遅れている」という指摘を受けました。

私自身がSNSに疎いので、どう答えればいいのか、言葉に詰まってしまうほどでした。母国日本における福音宣教に関する戦略のなさを、我ながら情けなく思い、打ち砕かれた気分になりました。これまでの自分の司祭職、果たすべき責務を果たしていない・・・そんな後ろめたい思いが、今でもひっかかっています。

この私が、新しい旋風を巻き起こして教会が活性化する・・・そんな幻想はぜんぜん抱いていませんが、どうしていいかわからないまま、とりあえず目の前のやるべきことをやっています。果たして、私が生きている間に、この心の中の晴れないもやもやが解消する日が来るのでしょうか？
神に感謝。

